



謹賀新年



トップインタビュー VOL.050

『株式会社 木村工業』

もくじ

② 年頭所感

⑤ 経営者に聞く

～(株)木村工業 木村 永樹氏～

⑦ 頑張る会員さん応援します

～第一生命保険(株)新南陽営業オフィス～

ほか

優良商工従業員 表彰者募集

新南陽商工会議所では、商工従業員の定着と勤労意欲の向上を図るため、商工会議所会頭表彰を実施致します。各事業所にて、該当される優良従業員の方を是非ご推薦ください。

※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

令和二年

新春のごあいさつ

新南陽商工会議所 会頭 佐伯 哲治



皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、当商工会議所の事業活動に絶大なるご支援、ご協力を賜り誠に有難うございます。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は今上天皇陛下の御即位と元号が平成から令和へと、まさに新しい時代の幕明けとなる節目の年でした。

一方、景気は下降局面に差し掛かり、東日本中心に台風等による甚大な被害や、お隣韓国との対立の激化など、前途多難な時代であることも認識させられた一年でした。そんな中、昨年のラグビーWCによる日本チームの健闘は嬉しい出来事でした。ワンチームというフレーズが象徴するように、個々のルーツの違いや体格のハンディを乗り越え、チームが一つにまとまれば大きな力を発揮することを示してくれました。

今年は東京オリンピック、パリリンピックが開催されます。日本チームの活躍と、世界平和につながる大会となることを祈念致します。

私が商工会議所の会頭に就任して早いものでちょうど一期、丸三年が経過しました。就任当初より、良き伝統、守るべき財

産は死守するも、時代の転換期にある今、改めることは憚らないと内外へ発信してきました。

会員の皆様が商工会議所に期待されることは何なのか？これまでの記帳支援や税務相談中心で良いのか？後継者不足、情報不足を初め、個々の会員各位の事業運営の課題に的確に本當に寄り添えているか？

特に周南市として合併して旧新南陽市時代の利便性やアイデンティティーが失われつつあることを感じる方も多く、商工会議所としてはそうした声も反映した活動も心掛けているところです。一方で周南市として一つになった以上、お隣の徳山商工会議所さんとの連携をさらに強めることで、商工会議所の存在感を高めつつ、会員サービスの選択肢を広げたり、商工会議所そのものの運営の効率化も目指しているところです。

最近、会員各位の声として気になるのは、やはり人手不足、後継者不足による事業運営の厳しさです。

どの業界も一様に深刻です。とりわけ山口県は全国的に見ても高齢化が進んでいるため、仕事はあっても先々の事業運営に見通しが立たないといった事業

主さんが増加しています。商工会議所としても人材の確保につながる情報の収集や提供を関係機関と連携して努めてまいります。

いよいよ今年3月末から「古川跨線橋」の架け替え工事が開始されます。会員各位の不安は小さくありません。

現在でも産業道路を中心に朝夕の渋滞が慢性化している中、さらに渋滞が激しくなることが予想されます。工期も約10年と永く、時間帯によつては緊急車両の通行や物流に支障が出るのではという懸念もあります。

本件については先ずは工期を大幅に短縮していただくよう周南市や山口県に再三お願いしております。一方、我々も時間差出退勤やマイカー利用の低減、迂回路の活用など、最大限協力していくことが必要です。会員各位のご理解とご協力を誌面をお借りしてお願い申し上げます。

周南地区の顔でもある徳山駅ビルの整備がほぼ完了しました。次は周南の副都心でもある新南陽駅の機能の整備を急ぐよう周南市にお願いしています。トイレや駐輪場、交通結節機能の整備が中心となりますが、今年から工事が始まる予定です。また

駅ホームの段差の解消やバリアフリー化も引き続き依頼してまいります。これに加えて、新南陽駅から永源山に至る道のりは新南陽地区の憩いのエリアです。御年輩の方々や小さなお子さんが安心して移動できるようベンチの設営などについても現在準備中です。

毎年全国いたるところで自然災害が発生しています。さながら地域は人口減と自然災害との闘いとなっています。商工会議所は地域の産業振興がメインのテーマですが、会員各位が安心して事業を継続するためにも防災に強い街づくりに向けて、商工会議所として取り組めることは何かも検討してまいる所存です。「わがまち しゅうなん」「ふるさと しんなんよう」が会員各位にとって暮らしやすい、働きやすい街になるようラグビーのワンチームの精神で、皆さんとともに進めてまいります。

最後になりましたが、今年一年が皆様方におかれまして素晴らしい年となりますよう祈念致します。年頭のご挨拶と致します。





令和二年 市長年頭所感

周南市長 藤井 律子



新年、明けましておめでとう
ございます。

新南陽商工会議所会員の皆様
におかれましては、輝かしい希
望に満ちた新春をお迎えのこと
とお喜び申し上げます。

また、平素より、市政の運営
に格別のご理解とご協力をいた
だいておりますことに、心から
厚く御礼申し上げます。

新南陽商工会議所におかれま
しては、若者の市内定住促進を
図る「ええ人で愛ん祭」をは
じめ、新南陽地域を代表するイ
ベントとして親しまれている
「サンフェスタしんなんよう」
「ムーンフェスタしんなんよ
う」、「周南ふるさとふれあい
物産展」など、地域の特性や資
源を生かした多彩な事業によつ
て、本市の魅力の創出や発信に
多大なるご尽力をいただいてお
り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、10月の消費
税・地方消費税の税率引上げを
受け、国において軽減税率の導
入や、キャッシュレス化の推進、
プレミアム付商品券事業など、
事業者の皆さまに直接関係する
施策が数多く展開される年とな
りました。

本市におきましても、キャッ
シュレス化推進のため、新南陽
商工会議所をはじめとする関係
機関とともに、「キャッシュレ
ス化実現会議」を昨年5月に立
ち上げ、事業者や市民の皆様
にキャッシュレスについて関心
を持っていたけるよう、取り組
みを始めております。

「プレミアム付商品券事業」
におきましても、新南陽商工
会議所において実施されている市
内共通商品券事業のノウハウを
参考に、関係機関や登録加盟店
にご協力いただきながら、事業
を進めているところでございま
す。

また、昨年6月には、市民利
用会議室やカフェを含む市民交
流施設がオープンし、平成28年
度から進めてきた新庁舎建設工
事が全て完了しました。完成し
た新庁舎は、本市の防災拠点と
しての機能も有しており、市民
の安心、安全を守る防災・減災
対策にもしっかりと取り組んで
まいります。

新南陽地域では、昨年9月に
西消防署整備事業の建設工事に
着工しました。効率的かつ機能
的な消防体制を確保するため、

運用開始に向けた準備を着実に
進めてまいります。現在イオン
タウン周南で業務を行っている
新南陽総合支所につきましても、
将来のまちづくりをしつかりと
見据える中で、真に必要な行政
サービスの在り方を検証し、地
域の皆さまと共に知恵を出し合
いながら、今後の方向性を検討
してまいります。

現在、日本は人口減少時代を
迎えており、人口減少問題を克
服するため、全国各地で地方創
生に向けた取り組みが進められ
ています。

本市においても、平成28年1
月に「まち・ひと・しごと創生
総合戦略」を策定し、「雇用を
確保し、安定して働くことがで
きるまち」、「若者・女性が住み
たいと思い、活躍できるまち」、
「賑わいと活力を実感できるま
ち」を基本目標に掲げ、積極的
に取り組んでいます。

本年も、新南陽商工会議所を
はじめとする関係機関等と連携
しながら、情報・通信産業等の
誘致や、創業支援、若者・女性
の雇用の促進などの諸施策に取
り組んでまいります。

昨年5月、「令和」という新

しい時代が始まりました。

「令和」には、人々が美しく
心を寄せ合う中で、文化が生ま
れ育つ、という意味が込められ
ています。

私は、市民に寄り添い、市民
と分かり合える市政の実現を
目指しておりますが、「寄り添
う」という言葉は、相手や周囲
を慮る日本人独特の感性を表現
したものであり、令和という元
号に込められた意味にも通じる
のではないかと感じています。

市民の声を聞き、市民に寄り
添い、施策をよく吟味し、新た
な取り組みにも挑戦しながら、
本市の将来を見据えた市政運営
に取り組んでまいりますので、
本年も変わらぬご支援・ご協力
を賜りますようお願い申し上げ
ます。

結びに、本年が新南陽商工
会議所会員の皆様にとりまして、
実り多き一年となりますことを
心から祈念申し上げます。年
頭のあいさつとさせていただきます。





令和二年

三村会頭年頭所感

日本商工会議所 会頭 三村 明夫



明けましておめでとうございます。
2020年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

私は、昨年11月の臨時会員総会において、各地商工会議所の皆様のご推挙を得て日本商工会議所会頭に再任され、日商会議所として3期目の新年を迎えることとなりました。各地の皆様におかれましては、新体制の下、清々しく新年をお迎えになられたことと存じます。

さて、昨年は国内外ともに実に多くの動きがありました。わが国では30年ぶりの御代替わりを経て「令和」時代の幕が開き、大変な盛り上がりを見せたラグビーワールドカップ、5年ぶりの消費税率引き上げ等、重要な出来事が相次ぎました。一方で、台風等の自然災害による被害も広範囲かつ甚大なものとなり、いまだ影響の残る被災地の皆様には、改めて心からお見舞いを申しあげたいと思います。

世界では、長期化する米中対立、不安定な中東情勢、ブレグジット問題、香港問題、日韓関係の悪化等、数々の混乱が生じ、その出口を模索し続けた1年でありました。

わが国の経済情勢に目を転じれば、個人消費にはいまだ力強さを欠くものの、米中摩擦等の影響もこれまでのところ限定的であり、民間投資は引き続き底堅く、日本経済は潜在成長率並

みの1%程度の緩やかな拡大が続けています。本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、東京および全国各地の魅力とともに、東日本大震災等から復興した日本の姿を、全世界にアピールできる絶好の機会であり、ぜひともこのビッグイベントによる効果を全国津々浦々に波及させ、日本全体が元気になれる1年になることを切に願っております。

一方、わが国経済は多くの課題も抱えております。人口減少や高齢化等の日本社会の構造変化を背景に、年々深刻化する人手不足、経営者の高齢化等による廃業の増加、地方の疲弊等が、日本経済のさらなる成長の足かせになっております。これら日本の抱える構造的課題は、立場の弱い中小企業の経営課題として最も早く顕在化してきており、大企業との利益率格差は年々拡大し、また賃金も毎年上昇する中で、労働分配率は大企業の40%台に対し、中小企業では70%台に達しています。従って、生産性の向上や取引価格の適正化等を通じて付加価値の向上なくして、中小企業はこれからの時代を生きていくことはできません。

こうした危機感の下、私は昨年11月、会頭再任時の所信において「中小企業の強化を通じて日本の成長する力を育てる」「地域の活性化」を活動の二本柱とする今期の取り組みを表明いたしました。中小企業はわが国経済の基盤であります。日本全体の雇用の約7割、付加価値の約5割を生み出している中小企業の強化なくして、わが国の持続的な経済成長はあり得ません。所信では、①ひつ迫する人手不足とデジタル社会の到来にあつて、いまだ「発火点」に達していない中小企業への「IT導入」と「デジタル技術の実装化」を急ぎ、生産性向上と付加価値向上を同時に実現すること、②来る「大企業承継時代」を変革と創造の好機と捉え、「事業承継の加速化」で価値ある事業と技術を次世代へ承継し、「起業・創業の活性化」でビジネス全体の刷新を促すこと、③取引価格の適正化とともに、中小企業の生産性向上を大企業が積極的に支援する「大企業と中小企業の新しい共存共栄関係の構築」により、サプライチェーン全体をより強固なものにしていくこと、をわが国経済全体の発展・強化のための最重要の取り組みとして掲げています。

また、「地域の活性化」では、各地域がその魅力を活かし、他地域とも連携して所得向上に取り組みねばなりません。地域横断での広域連携を軸とした「観光振興」と「農工商連携」をさらに推し進め、地域の独自資源を最大限に活用して、インバウンドも含めた域外需要を取り込んでいく必要があります。また、観光振興や地方創生の取り組みを支え、これを加速化するストック効果の高い社会資本整備や、近年頻発する大規模自然災害に耐え得る国土強靱化についても、引き続き政府に対して積

極的な働き掛けを行ってまいります。

これらの目標を実現させる上で、われわれ商工会議所は本年も「現場主義」と「双方向主義」をさらに徹底し、現場の声を、各種の規制・制度改革、持続可能な全世代型社会保障制度の構築、中小企業対策等を実現する政策提言に活かしてまいりたいと思います。商工会議所の強みは、全国515商工会議所、124万会員のネットワークを通じて、具体的・個別的な課題をはっきりと認識していることです。その強みを活かし、それぞれの地域で必要とされ、選ばれる組織であり続けるためには、地域の多様な主体と連携協働を図りつつ、商工会議所自身も、時代の要請に合った進化と変革を遂げていかねばなりません。

折しも、商工会議所の創始者である洪沢栄一翁が、2021年のNHK大河ドラマの主人公や、新1万円札の顔となることが決定しました。「企業は利益を上げなければならぬ」と同時に、公益についても考えなければならぬ。両者は高い次元で両立する」という洪沢翁の理念は、商工会議所の活動理念そのものであり、現代においてこそ広める価値があるものと考えます。この機に洪沢翁の理念を改めて共有し、大企業と中小企業、都市と地方が共に輝き、日本経済の持続的な成長をさらに後押しできるよう、本年も皆様と共に全力を尽くして取り組む所存であります。

【概要】

1987年に現会長の木村孝氏を代表として管工事を柱に親子で創業。1995年に法人化し、2006年に東一の井出に移転。木村永樹さんは2008年に株式会社にする事で更なる事業拡大を託されて社長に就任。建設業許可を取得し、管工事、鋼構造物工事、機械器具設置、とび土木工事など事業内容を拡大。2011年に今住町に移転し、2018年に工場が手狭になったこともあり野村に本社を移転。2019年に労働者派遣事業許可を取得。周南コンビナートを中心に建設工事、定修工事、機器メンテナンスを行う企業として、無事故無災害はもちろん信頼を企業の柱に、チャレンジ精神を忘れることなく成長を続けている。木村社長の弟で専務の周嗣さんが社内での業務だけでなく、若い社員などの相談役にもなり、全社員で力を合わせて、仕事を通じて地域貢献できる会社を目指している。

経営者に聞く

■株式会社 木村工業

〒746-0022 山口県周南市野村2丁目2番54号

tel.0834-61-0025

<https://www.k-kimura.co.jp>



株式会社 木村工業

社長 木村 永樹さん

トップインタビュー vol.050

「顧客の依頼に正面から向き合い、愚直に誠実に前向きに取り組み、その中でも常に革新を忘れることなく、笑顔と感謝の気持ちで信頼に応えたい」と話す木村永樹社長。「会社が現在あるのは地域のおかげ」と感謝し、顧客のニーズには社員一丸となって取り組んできた。



職人技を持ったスタッフ

現会長と親子で管工事で創業。様々な仕事を頼まれる中で、仕事の幅を広げてきた。

現状に満足することなく、創意工夫と挑戦でスキルアップに努めてきた。若い社員が多い中、世界の中で戦う大手企業を支える仕事に誇りを持ち、職人としての技術を鍛え、働く社員の一人一人がプライドを持ち、幸せを感じられる会社になりたいと張り切る。

現在、正社員は20人以上、総スタッフ40人。社員やスタッフの生活を守るために会社の経営の安定はもちろんだが、働く職場環境改善に本社工場も移転した。「それほど大きくはないが、社員が手狭で窮屈だっただけに、ゆとりと働ける環境整備ができて嬉しい。職人として若い人材を積極的に採用していきたい」と話す。

木村工業は管工事、鋼構造物工事、機械器具設置、とび土木工事、人材派遣など様々な事業を展開。「どの分野もスペシャリストが揃っている」と話す中、中でも鋼構造物工事の経験には自信をのぞかせる。

時代をリードする技術で応えたい」と目を輝かす。

木村さんは社長として法令順守、納期厳守、無事故無災害など、当たり前のことを当たり前にすることが、頼られ、信頼される会社として存続し続けられ、結果、顧客だけでなく社員の幸せを守ることにたと話す。

少子高齢化はどんどん進んでいるが、木村工業には若者が揃っている。若い社員の成長が楽しくて、うれしくて仕方ないと話す木村さん。会社の成長は若い力の成長と共にあると考え、若者が働きたくなる会社の仕組みを取り入れて行きたいと話し、今後も、新入社員採用に向けて、同社が培ってきた技術を核にして、あらゆる面での人材育成システムの構築に力を入れ、若者の成長に最も力を注ぎたいと情熱を燃やしている。

木村さんが仕事に邁進できたのは、妻の寛子さんの存在が大きい。子育てはもちろん、仕事のパートナーとしても支えてくれていることに、いつも感謝している。



▲青空公園はロウソク型のタワーを中心にしたLEDの鮮やかな光に包まれた

▼点灯のスイッチを押す
佐伯会頭
(右から2番目)



11月30日
周南冬のツリーまつり
ウィンターイルミネーション2019
青空公園 点灯式
周南市の冬を彩る恒例のイルミネーション点灯式が青空公園で開かれ、当商議所より佐伯会頭が出席した。
午後5時半に藤井周南市長をはじめ佐伯会頭らがスイッチを入れると100万球を使ったイルミネーションが一齐に点灯し、会場は色鮮やかな光に包まれた。



▲熱心な商談が繰り広げられた

12月4日・5日
令和元年度
ビジネスドラフト
やまぐち開催
地元中小企業のみならず取引先や販路の拡大など新たなビジネスチャンスを創出していただくことを目的に、同イベント(主催・山口県商工会議所連合会 共催・山口県商工会連合会)が(公財)周南地場産業振興センターに於いて開催され、二日間にわたり充実した商談が繰り広げられた。
今年度は県内の商工会議所、商工会の会員企業351社がエントリーし、事前調整でマッチングされた159社が商談に参加。213件の商談が行われ、自社商品のPRや情報交換を行った。
次年度は山陽小野田市で開催される。



▲元氣な掛け声と共に餅をついた

12月5日
飲食・サービス部会
餅つき奉仕活動
当商工会議所飲食・サービス部会(部会長 坪倉浩己)は奉仕活動の一環として、社会福祉法人周陽会 社会就労センターセルブ新南陽を訪問し、施設利用者ら約50人と餅つきを楽しんだ。
この活動は今回で16回目。もち米15キロ、おつけもの、ぜんざい、杵を用意して、9名で訪問した。
掛け声が上がると、当部会や施設利用者その保護者で杵を力いっぱい振り上げ楽しく餅をついた。餅は参加者全員で丸めてぜんざいに入れておいしくいただいたり、家庭に持ち帰った。
最後に前崎敏明管理者と利用者代表の方よりお礼の挨拶があり、令和元年度の餅つき奉仕活動を盛会に終えた。

まだ間に合う! 県共済の火災共済

近年の自然災害多発により、支払保険金が増大したため、令和元年10月より火災保険の料率改定がありました。

火災 水災
風災 雪災
落雷 地震
NEW!

今、火災保険料は値上げ続きます。しかし、火災共済は頑張ります!!
◆共済掛金は今年も据え置き◆

ご相談・お見積り大歓迎!!

山口県火災共済協同組合 検索

第64回冬の「周南パラボラ会」のご案内

1. 日時 令和2年2月21日(金) 18:00 ~ 19:30
2. 場所 ピピ510 周南市糺町1-17
3. 参加費 お一人につき1,000円
(当日徴収させていただきます。)
(名刺をご用意いただきますようお願い致します)
※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

12月2日
消費税率軽減税率対策窓口相談等事業
消費税率軽減税率対策講座 開催
当商工会議所は、中小・小規模事業者の皆様が今年の10月から実施された消費税率10%への引上げと軽減税率制度による影響を最小限に、円滑に事業活動が行えるように支援することを目的にセミナーや窓口相談開催等の「消費税率軽減税率対策窓口等相談事業」に取り組む。
今回のセミナーでは公認会計士の海生裕明氏を講師にお迎えし、消費税率について分かりやすく解説していただき、軽減税率制度に対応した消費税率申告書作成について、区分経理などのポイントを学んだ。
事業主目線の講習内容であったため、参加された皆様はうなずく場面が多々あり、熱心にメモを取りながら聴講されていた。
▲講習会の様子



新南陽市民病院東隣で生命保険業として営業されている、第一生命保険株式会社山口支社 新南陽営業オフィスさんを紹介させていただきます



第一生命保険(株)新南陽営業オフィス



- 昭和40年 当時は新南陽駅前付近で開業
- その後政所地区へ移転
- 昭和52年 現在の宮の前に移転

支社ビジョン（支社のありたい姿）



「三位一体・三方よし」

地域よし は地域との結びつきの推進、
 お客さまよし はお客さま満足の上、
 そして 社員よし は人材育成・働き方改革です。
 社員総勢 22 名一人一人が取り組むビジョンです。



第一生命保山口支社は山口県と
“がん啓発がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に係る協定” を締結しております。
 県民の皆様ががん検診や、健康増進に関する情報をお届けし、皆さまに元気でお過ごし頂く為の保障に心を配り、最新医療の情報提供を行っております。



周南市とは、**“もやいネット支援事業所協定”** を提携しており高齢者等見守り活動にも参加しております。



当社販売の保険の中には、『健康診断書』『人間ドック結果通知書』『母子手帳』などの結果を提出するだけで健康診断割引特約の保険料でご契約頂けます。
 健康状態によっては、さらに掛金が安くなる場合もございます。
 ご契約時の健康状態の判定で割引の保険料が確定しますので、毎年提出される必要はございません。



第一生命は、これからもお客様に寄り添った活動と
“一生涯のパートナー” として
 皆様に健康・医療・社会保障制度など、お役に立つ情報をお届けしていきます。
 どうぞお気軽に新南陽営業オフィスの方へお問い合わせ、お立ち寄り下さい。



第一生命保険(株)山口支社 新南陽営業オフィス

周南市宮の前 2-3-12
 ☎ 050-3782-6430
 FAX (0834)63-4224
 営業時間 9:00 ~ 17:00
 定休日 土、日曜日、祝日

